

進路だより



福島県立相馬支援学校
進路指導部
令和6年12月24日発行



2学期中の進路関係の行事について紹介します

「中学部後期産業現場等における実習」

中学部進路指導部

中学部後期産業現場等における実習が11月11日(月)～11月15日(金)までの5日間で行われました。前期より長い時間での実習でしたが、自分の作業に最後まで集中して取り組む様子が見られました。高等部で実習を行った生徒は、初めてのことばかりの慣れない環境でしたが、高等部の先生の指示をよく聞いて一生懸命取り組む様子が見られました。また、どの生徒も実習前に具体的な目標を立て、実習後それに対する反省をしっかりとすることができ、自分の強みや課題を知ることができました。

【刺し子班】



【紙すき班】



【高等部での実習】



「小学部の進路指導」

小学部進路指導部

小学部では、様々な活動の中で、集団や社会生活に必要な基礎的・基本的な力の基盤を培います。例えば挨拶が一つ挙げられます。挨拶は、自分の心を開き、相手を認め、相手の心に近づく動作で、人と人を繋ぐコミュニケーションとして必要なスキルであり、日々の学校生活で一人一人が行っています。また、係活動や委員会活動では、集団の中での自分の役割を知ったり、最後まで活動に取り組んだりすることが大切になってきます。特に2学期は、「咲笑祭」や「鹿島小学校との交流会」もあり、様々な人や他集団とかかわることができました。冬休みは、ご家庭でお手伝いなど様々なことに挑戦して頂ければと思います。

【咲笑祭】



【鹿島小との交流】

「先輩の話を聞く会」

高等部進路指導部

産業現場等における実習に向けて、10月23日に「先輩の話を聞く会」を実施しました。先輩から働く上で大切なことを聞いたり、生徒から質問をしたりしました。今回は、令和5年度卒業生と令和4年度卒業生の方から「働くこと」について自身の経験から様々なことを伝えて頂きました。生徒一人ずつ質問し、仕事で大変なことや職場でのコミュニケーションなどについてお聞きしました。また「運転免許の取得」、「グループホームでの生活」、「お金の管理」についても実体験を踏まえてお話を聞くことができました。実際に働いている先輩の話を聞き、それぞれが卒業後のイメージができたことと思います。



生徒の感想

「高等部後期産業現場等における実習」

〔企業での実習〕

フレスコキクチで実習をしました。実習では、野菜の袋詰めや清掃に取り組む中で、仕事の楽しさを感じました。今後は、日ごろから清掃活動に取り組んだり、スピードを意識して作業に取り組んだりしていきたいです。



〔就労継続 B 型事業所での実習〕

ワークスペースアシストで実習をしました。実習では、ナットやボルトの組み立てを行い、ボルトをまわす作業ができるようになりました。実習の中で、一つ一つ確認しながら取り組むことの大切さを学びました。



〔校内実習〕

実習では、全員が目標を決め反省をしました。

現場実習「わたしの目標の反省」
(態度) お話を聞いて、友達と仕事の準備や片付けをすることができた。
(作業) 決められた時間、最後まで集中して仕事に取り組むことができた。
(生活) 近くの先生に困った時に、「お願いします。」と言うことができた。



※実習では、各企業、事業所の評価を頂きました。課題を今後の学校生活に生かしていければと思います。

「全国アビリンピックへの出場」

7月6日に行われたふくしまアビリンピックのビルクリーニング部門に今野雄斗さんが出場しました。この大会で金賞を受賞したことで、全国アビリンピックへの出場権を獲得しました。全国アビリンピックは、11月23日に愛知県国際展示場で行われ、各都道府県の代表が集まり、福島県代表として出場しました。これまで、作業学習でビルクリーニングの練習を積み重ねたことで、全国アビリンピックという大きな舞台で自分の実力を発揮することができました。

掃除機でのカーペット清掃もありました。



ダスターがけ



モップがけ



机上清掃